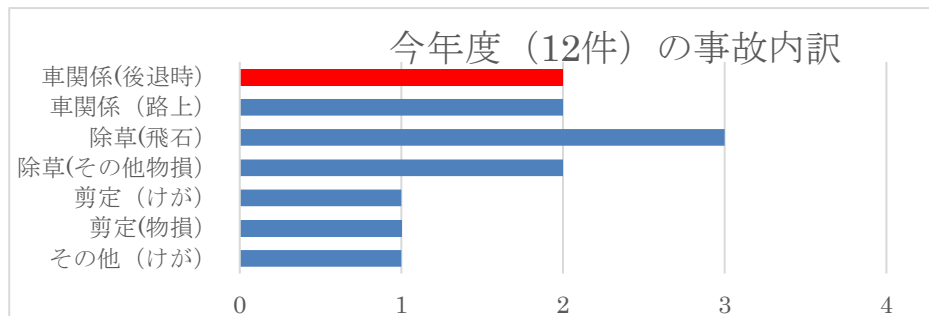


桑名市 S.C. 安全スローガン (令和2年度～4年度)

「気を抜くな なれた作業に落とし穴」

◎事故発生状況 (令和2年6月～8月) (番号は、4月からの件数。 8月末現在、計12件)

発生場所	発生日時	事 故 内 容
⑥吉之丸	6/24 (水) 14:00	センター駐車場に後退で駐車しようとした際、置いてあったコンクリートブロックを避けたつもりが、誤ってブロック塀に接触した。
⑦太一丸	7/25 (土) 10:00	公共施設の庭園草刈り。歩道沿いに設置された足元照明ランプに草刈機が接触し、ガラス製のランプカバーを破損した。
⑧多度町	7/27 (月) 7:45	国道 258 号の側道から本線に合流する際、一旦停止をせず合流したため、走行車両と接触した。双方の車が破損した。けがは無し。
⑨長島町	8/10 (月) 15:00	草刈り作業中に刈草を積み込むためパッカー車を後退させた際、通路沿いの樹木に接触、後部ランプを破損した。
⑩野田	8/11 (火) 11:00	剪定のため隣家の駐車場を借りたが、作業後、脚立を荷台に積み込む際、脚立が駐車車両に接触し、傷つけた。
⑪いなべ市	8/21 (金) 14:00	建設機器を清掃する工場内で、脚立を台に乗せ清掃中、開いた脚が倒れて指が挟まった。左手親指挫傷。
⑫東方	8/26 (水) 13:15	空地の草刈中、飛石により道路反対側の民家の窓ガラスを破損。防護ネットを張っていなかった。



★業務担当者と当該会員とで、原因・対策などを話し合いました

今年、車を後退させる際の事故が、2件発生しています！

◎「バック・オアシス運動」・・・後退時の安全不確認が引き起こす事故を防止する運動です

(桑名地区安全運転管理協議会、自家用自動車協会、桑名警察署)

- オ 降りて確認
- ア アクセル踏むな
- シ 死角に注意
- ス 少しのバックも緊張感

- ・後方確認が十分行えないような場合は、同乗者が降りて誘導しましょう。
- ・特にパッカー車、草・枝ごみ運搬時の軽トラなどの積み込み作業では、他の作業者は誘導をしてください。
- ・一人の場合でも、一度は降りて周囲を確認してください。

誘導のやり方

①立つ位置

運転手がサイドミラーから見える位置に立つ

②指示ははっきりと

「オーライ、オーライ」と大きな声を出し、掌を顔に近づけるように肘をまげて指示する

③距離を伝える

「あと2m、1m、50cm」と細かく区切って指示をする

◎安全運転継続中

今年もチャレンジ！！

交通安全「無事故・無違反チャレンジ123」に参加中！

免許取得者3名でチームを組み、お互いに安全運転を呼びかけながら123日間の無事故・無違反に挑戦するものです。今年も、当センターからも28組、84名の皆さんが挑戦中です。

期間は10月31日までです。あと約40日。

引き続き安全運転に徹し、無事故無違反で過ごしましょう。

横断歩道では、歩行者優先です！ 必ず一旦停止しましょう

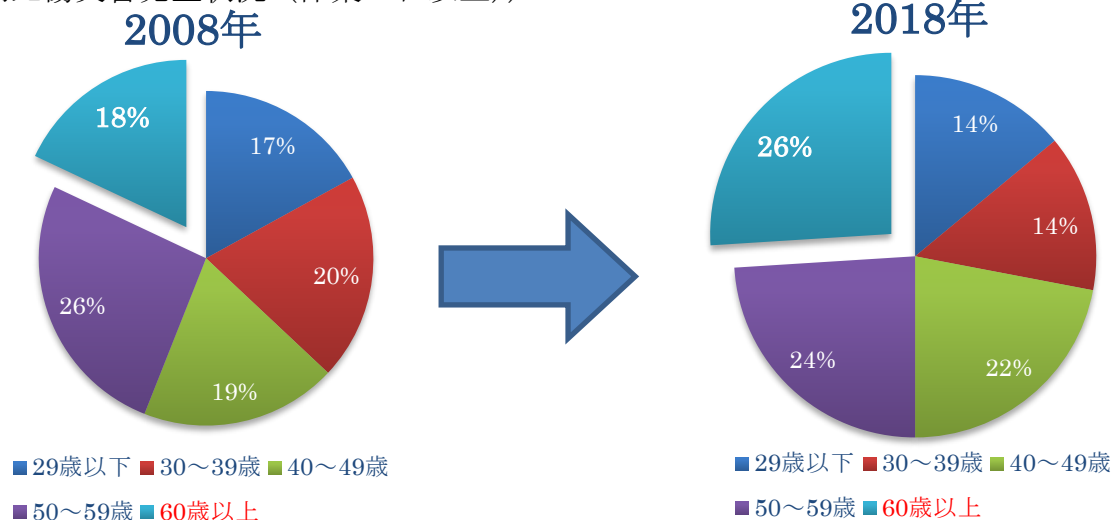
◎高齢者の労働災害が増えてます

(厚生労働省。高年齢労働者の安全と健康確保のためのガイドラインから)

60歳以上の雇用者数は過去10年間で1.5倍に増加しました。

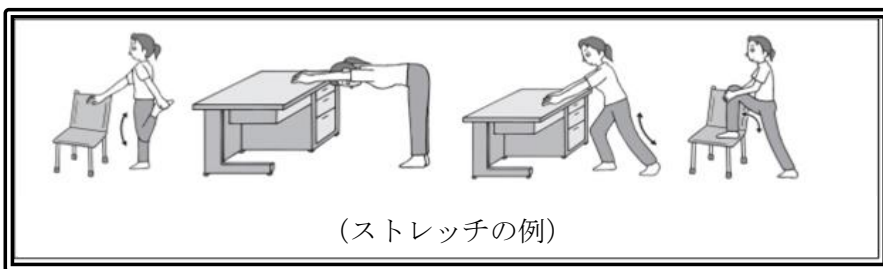
また、労働災害による死傷者数では60歳以上の労働者が占める割合は26%で増加傾向にあり、労働災害発生率も若年層に比べて高く、中でも転倒災害、墜落・転落災害が顕著です。

(年齢別死傷災害発生状況 (休業4日以上))



健康で長く活躍できるようにするために・・・健康と体力を自分で把握・維持

- ・健康診断を必ず受ける
- ・体力測定に参加して身体能力のチェックをする
- ・日頃からストレッチやラジオ体操
- ・栄養バランスの良い食事
- ・適正体重の維持



◎「ヒヤリハット体験事例の紹介」

皆さんから頂戴した体験事例をご紹介します。

今回は、「法面での除草中」の体験事例を1件ご紹介します。事故の未然防止に役立ててください。

事例	あらし	手袋、ゴム長を着用して、コンクリートブロックの法面で、隙間から生えている草を抜いていたところ両足が滑って右ひじを打撲し、滑り落ちそうになった。
	気づき・反省	滑りにくい靴を着用する。 高枝バサミなどの道具を活用する

※皆さんからのヒヤリハットの体験事例を募集しています。